

豊島区みどりの基本計画策定委員会

第 1 回策定委員会でのご意見を踏まえた主な検討事項

■目標の設定

- 豊島区の特徴を踏まえた新しい指標づくり（パークトラックの取組やコミュニティの形成により地域的なことを楽しめることができた、など）
⇒ 新たな目標の検討、数値化しづらい「満足度」などの評価方法の検討

■利用が集中している中小規模公園の運用のしくみづくり

- まとまった面積の公園に複数の保育園の利用が集中している
⇒ 公園の魅力づくりとなる新たな取組（「おもちゃ倉庫」など）の充実など、施策として検討する

■公園での活動などに関する利用者サービスの充実

- 中小規模公園活用プロジェクトの活動などについて利用者への周知が不足している
⇒ 情報端末のツールの活用などによる PR を図るなど、施策として検討する

■癒しの場所の創出

- 公園以外の身近なオープンスペースに地域住民が憩える場所を創出してほしい（木のベンチ、木と水の組み合わせによる人を和ませる場所）
⇒ 施策として検討する

■民有地の駐車場や屋上の緑化誘導

- 駐車場緑化を推進してほしい（緑化ブロックによる舗装、壁面緑化）
- 雨水利用による屋上緑化を推進してほしい
⇒ 民有地も積極的な環境配慮が必要であり、施策として検討する

■ヒートアイランド対策

- コンクリートで地面を被わない（プランターよりも地植え）、100 本の木をまとめて植えるより 100 軒の家が 1 本ずつ木を植えた方が街を冷やすと言われている
⇒ 施策として検討する

■緑化の推進

- 建築物新築の際の緑化計画との連携
⇒ 民有地の緑化を更に充実させるための方策として、都市緑地法の区緑化基準への反映について検討する

■みどりの大切さを次世代に伝える

- 環境教育の一環として、植樹イベントや花の配布などにより、みどりの大切さを子どもたちへ伝える機会を増やしたい
⇒ 施策として検討する

■公園管理について

- 地域ごとに地域に存在する公園をマネジメントすることが重要
⇒ 地域での公園管理の活動がしやすい仕組づくりの検討

■その他

- ホームレスの問題⇒公園整備と福祉を連携
- コロナ禍の公園利用ニーズの変化への対応